

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	新鎌ヶ谷駅周辺地区市街地整備促進事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	2	○
政策	31魅力あふれるまちづくりを進めます	担当課室	都市計画課			
施策	311広域交流拠点の整備	担当課室長	横山 吉治			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成28年度の検討業務を受け、検討結果の情報共有を図るとともに、庁内の横断的な検討体制の構築も含め、引き続き土地利用に向けた検討業務に取り組む。	③令和元年度に取組む改革・改善内容	引き続き土地利用の方策について、実現可能な範囲の内容について、将来のまちづくりに活用できるよう位置づけを行うため業務に取り組む。
②①に基づく取組み結果	土地利用の方策について、関係機関との協議の結果、公共利用目的を中心に実現可能な範囲を見定めた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	新鎌ヶ谷駅周辺地区	意図(対象をどうするのか)	地区の回遊性や利便性の向上を図る
②事務事業の概要	新鎌ヶ谷駅周辺地区が、魅力と活気にあふれる中心市街地として形成されるよう、土地利用の推進や通路の整備等を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	東京10号線延伸新線の事業化の検討中止や、新京成線連続立体交差事業の進捗に伴い、新鎌ヶ谷駅周辺地区における土地利用の形態に大きな変化が見込まれる時期であるため、上記事業への取組みが非常に重要である。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	新京成線連続立体交差事業に合わせた南北自由通路の一部区間の整備を実施した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠
	i	新鎌ヶ谷駅乗降客数	99,003	101,206	102,916	人/日	業務取得
	ii	新鎌ヶ谷地区事業所数	245	253	249	件	業務取得
	iii	新鎌ヶ谷地区市街地整備促進事業進捗率	51	51	65	%	業務取得
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算		
事業費(千円)	0	49,494	金額(千円)	内容		0	
国支出金(千円)			49,494	新鎌ヶ谷駅南北自由通路整備負担金			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)		49,494					

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	新鎌ヶ谷駅利用者の利便性や駅周辺の回遊性を高められるよう東京10号線延伸新線の活用方法について、千葉県企業局等の関係事業者と調整が引き続き必要である。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	鎌ヶ谷市の顔となる同地区については、市街地形成の更なる促進が必要である。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	通路整備負担金の支出	平成30年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	新鎌ヶ谷駅南北自由通路の一部を整備した。	60,107	60,107	当初	60,107	49,494	H29からの繰越	
				補正			現年分	49,494
③達成状況	完了			流用・充当				
④未完了・非着手の理由		令和元年度への繰越額(単位:千円)					0	